

第2回 障害児通所支援開設前説明会

# 就学・進学相談のしくみ

令和7年8月12日（火）

川崎市総合教育センター  
特別支援教育センター

## 本日の内容

1. 就学・進学先の決定について
2. 様々な学びの場
3. 就学相談 ～いつどこでどのように?～
4. 進学相談 ～いつどこでどのように?～

# 1. 就学・進学先の決定について

## 就学・進学相談とは

- 次年度4月に小中学校・特別支援学校小中学部に就学予定の年長児、小学校6年生とその保護者を対象に、お子さんの教育的ニーズと必要な支援・配慮を明らかにし、安心して就学・進学を迎えられるようにすること

単に、就学・進学先の決定を行う機会ではない

3

- 学区の小中学校はもちろん、保護者もお子さんのことを改めて見つめ直す機会

# 学校教育の変化 ～就学のしくみと基本的な考え方～

## 国内法の整備

「特殊教育」から「特別支援教育」へ

◆平成19年・・・「特別支援教育の推進について」において、特別支援教育が学校教育法に位置づけられる。

「インクルーシブ教育システム」「基礎的環境整備」「合理的配慮」  
できるだけ同じ場で共に学ぶことを目指すべき

◆平成24年・・・「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」

認定就学制度を廃止、総合的判断（本人・保護者の意向を可能な限り尊重）による就学制度

◆平成25年・・・就学制度の改正（学校教育法施行令一部改正）

## 就学・進学相談の基本的な考え方

- 障害者の権利に関する条約（第24条 教育）

「障害者が自分の住む地域で教育を受けるようにする」

- 文部科学省 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進

「障害のある子どもと障害のない子どもができるだけ同じ場でともに学ぶことを目指すべき」

5

障害のある子どもと障害のない子どもが  
地域社会で共に学ぶということ

# 就学・進学先決定の仕組

(平成25年度より変更: **障害の程度だけで就学先は決定しない**)

22条の3の表に該当しない

## 小中学校

「特別支援学校に就学させることが適当であると認める者」以外の者

22条の3の表に該当  
(障害の程度が最重度・重度)

## 認定特別支援学校就学者

「22条の3に規定する程度の**もののうち**、教育委員会が特別支援学校に就学させることが適当であると認める者」

平成25年10月4日 文部科学省「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について(通知)」

## 就学・進学先の決定（特別支援学校）

**教育支援会議等の審議**を経て、**障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見、学校や地域の状況等**を踏まえて、総合的に、教育委員会が「特別支援学校に就学させることが適当である」と認める者を認定特別支援学校就学者として就学・進学先を決定

## 2. 様々な学びの場

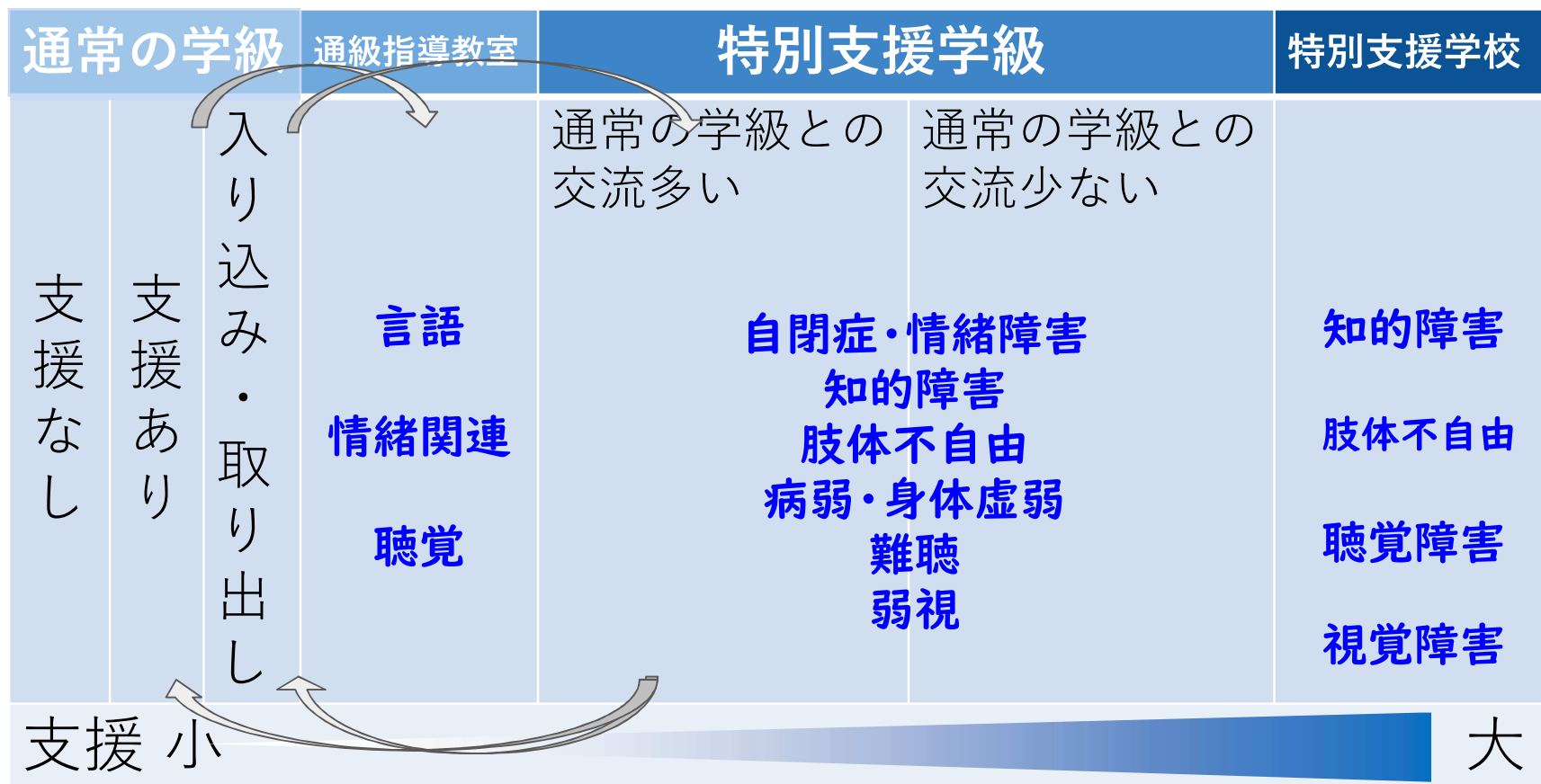
(昔から変わらず)

川崎市では、すべての小中学校に特別支援学級（全障害種）を  
設置しています。（設置します。）

(時代の変化)

- ・発達障害等の理解が進んでいます。
- ・特別支援学校、特別支援学級への希望者が増加傾向
- ・通常の学級から特別支援学級への転籍も増加傾向
- ・中学校特別支援学級卒業生の進路先も多様に





## <通常の学級>

- ・市内の市立小学校・中学校に設置
- ・住所で指定されている学区の小中学校への就学・進学が原則
- ・文部科学省の学習指導要領に沿った教育
- ・小学校は35人までで1学級、担任は1名
- ・支援教育コーディネーター（相談窓口）の配置

## <通級指導教室>

- 在籍校から通級する  
(単なる教科の遅れを補充する指導を除く)
- 実態により個別指導、小集団の指導
- 小学校通級は保護者等の付き添いが必要
- 遅刻、早退等の扱いにはならない。

難聴 言語 情緒関連

## 〈特別支援学級〉

- ・通級指導教室よりも、学校生活全般に支援が多く必要な場合
- ・市内の市立小学校すべてに設置
- ・障害の状態や必要な支援によって学級を編制
- ・学級種別ごとに8名までで1学級が設置
- ・教育課程は、特別支援学校学習指導要領（下学年対応）や学年に準ずる等実態に応じて編成
- ・通常の学級との交流及び共同学習を行う（実態に応じた内容）

知的障害 肢体不自由 病弱・身体虚弱  
弱視 難聴 自閉症・情緒障害

## 〈特別支援学校〉

- ・知的障害・肢体不自由・聴覚障害 教育部門
- ・「自立活動」や教科等を合わせた指導「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」等を中心とした教育課程
- ・実態に応じて地域の学校と居住地校交流
- ・就学・進学については法令をもとに自治体で判断
- ・教育部門ごとにそれぞれの通学地域が定められている
- ・スクールバスの運行地域と経路は、ある程度決まっている

### 3. 就学相談（年長児申込4月～）

#### 溝口相談室

高津・宮前・多摩・麻生区

「JR南武線」武蔵溝ノ口駅より  
徒歩20分

「東急田園都市線」  
高津、二子新地駅より徒歩15分

TEL 844-3700



#### 塚越相談室

川崎・幸・中原区

「JR南武線」鹿島田駅下車  
徒歩8分

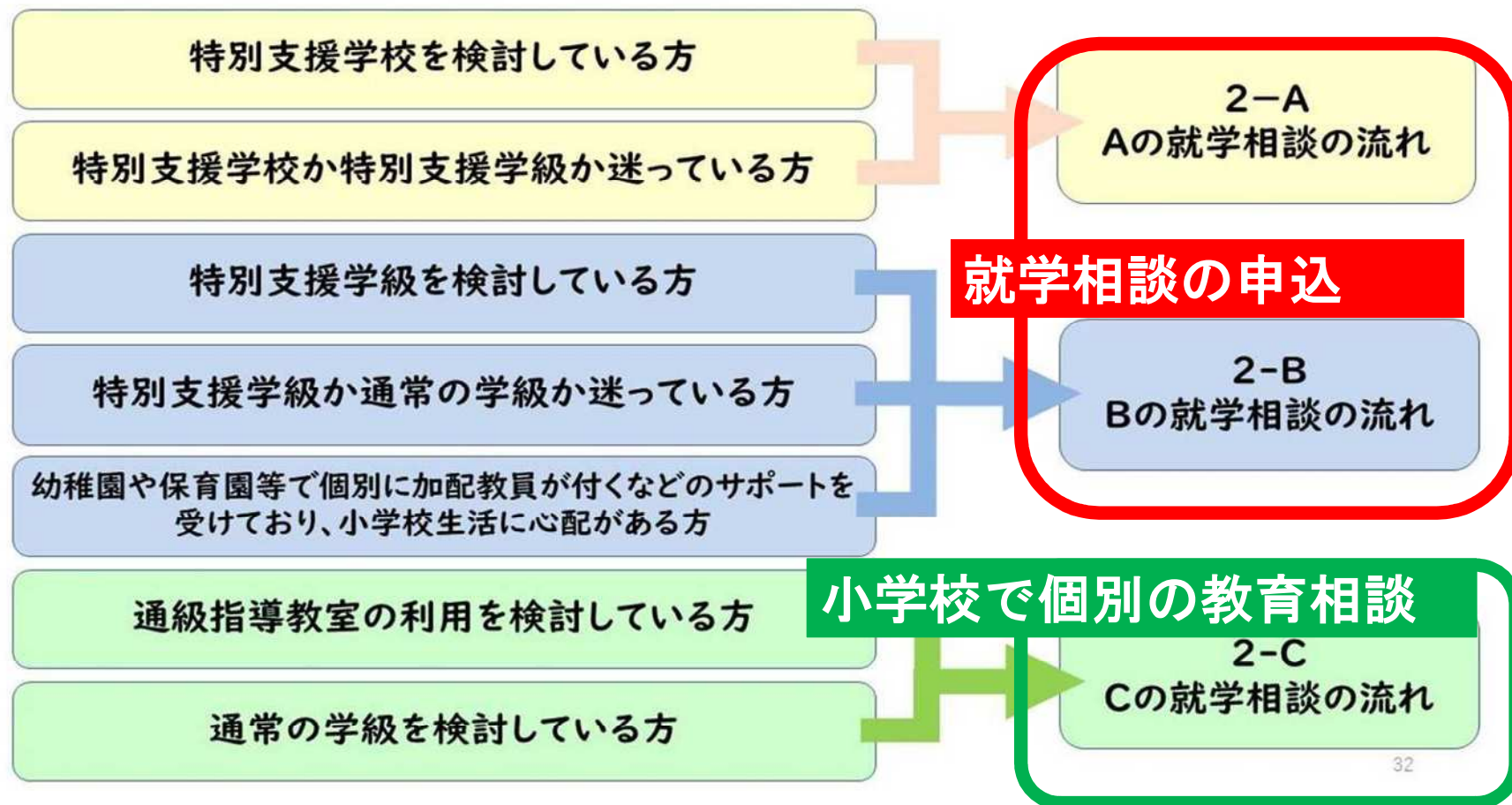
川崎市立塚越中学校の隣

TEL 541-3633

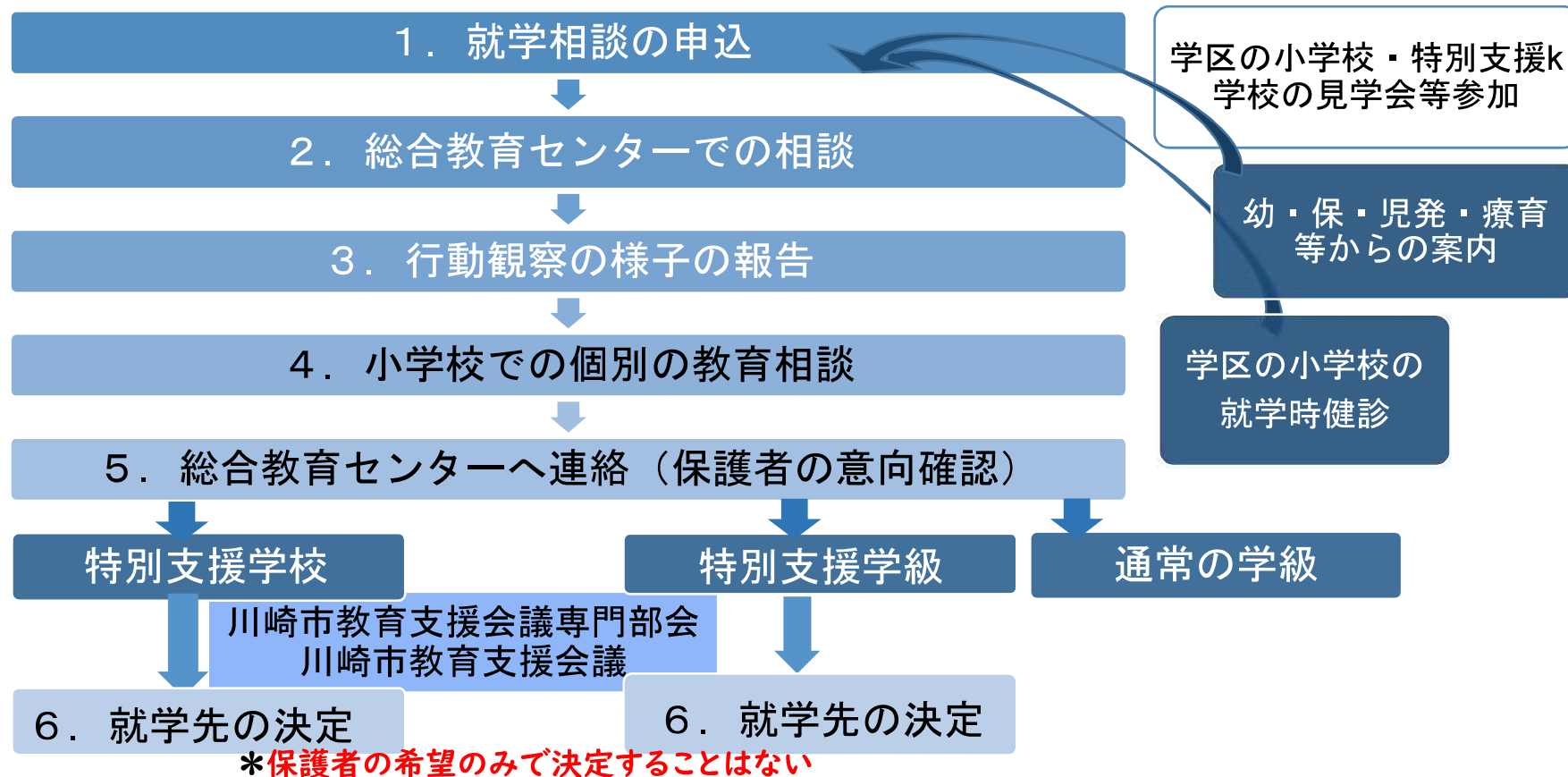


検索

川崎市 就学相談



## 就学相談の主な流れ





## 4. 進学相談（5年生から在籍校にて実施）

### 進学相談の主な流れ

